

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	高齢者福祉論（Study of Elderly Welfare）		
ナンバリングコード	E20905	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年／開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E041601	クラス名	2021以降学生用
担当教員名	林 孝和		
履修上の注意、 履修条件	・本講義は、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目である。 ・学びを深めるためにアクティブラーニングを行うので積極的に参加すること。 ・授業時の座席指定：適宜、指定の要否を検討し連絡する。 ・毎講義開始時に授業プリントを配布する。講義を欠席した場合等は、欠席学生本人が研究室に取りに来ない限り再配布はしない予定。また、配布したプリントは、各自で保管すること。 ・各講義の終盤で実施する確認テストには、必ず回答すること(出席確認を兼ねる)。		
教科書	最新・社会福祉士養成講座 2『高齢者福祉』(中央法規)		
参考文献及び指定図書	『見て覚える！社会福祉士国試ナビ』 中央法規出版 その他参考テキストについては、講義時に随時紹介する。		
関連科目	介護概論，地域福祉論，コミュニティワーク論，社会福祉原論，障害者福祉論，児童福祉論，相談援助の基盤と専門職，相談援助の理論と方法		

○基本情報		
授業の目的	高齢化が著しい我が国において、高齢者を取り巻く環境は大きく変化してきていることを理解する。そのうえで、高齢者の生き活きとした生活を実現するために、どのような各種施策があるか、理解を深める。 今後、要介護高齢者の増加が予測されていることから、介護保険制度と関連する諸施策を中心に学び、また、具体的な事例において社会福祉士等の専門職が行うソーシャルワーク・ケアマネジメントを体験する。	
授業の概要	まず、高齢者の特性について学ぶ。その後、高齢者の生活と社会環境、高齢者福祉の変遷、高齢者を取り巻く法制度、高齢者と家族等への支援にあり方について学ぶ。 次に高齢化の現状を把握するとともに、高齢者の特性の理解や高齢者のニーズについての理解を深める。 また、具体的な支援方策の論拠となる介護保険制度をはじめとした諸制度をしっかりと理解する。このことにより、専門職である社会福祉士として高齢者に対するより適切な支援が可能となり、高齢者の自立した生活の実現、生活の質的向上に資する科目であるといえる。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	・高齢者を取り巻く問題，課題について関心を示すことができる。			10点
【知識・理解】	高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する。	60点		
【技能・表現・コミュニケーション】	・講義内容を踏まえ、高齢者福祉に取り巻く諸問題について、自らの考えを表現することができる。		20点	
【思考・判断・創造】	・高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を表現できるようになる。			10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
定期試験及び毎講義のリアクションペーパー等をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 ※確認テストで申し出のあった質問・改善事項については、次回の講義時などに可能な限りコメントしたり、個別メールを使って回答する。

○その他
・進行状況や学修状況等により講義内容の追加や削除等変更をする場合がある。 ・講義内容についての質問・要望等は、講義終盤に行う確認テスト時の質問・要望欄を利用して申し出ること。 ・社会福祉士受験資格取得には、本科目及び「介護概論」(後期開講科目)の単位修得が必要となる。 ・私語厳禁。講義に不要な私語は慎むこと。 ・ペットボトルなど講義に不要な物を机の上に置いて受講しない。 ・講義内で受講生の意見を把握するため、スマートフォンを使う場合がある。モバイルデータ通信または学内Wifiを使って回答するようにしてほしい。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	高齢者福祉論（Study of Elderly Welfare） 林 孝和	授業コード	E041601
学修内容					
1. オリエンテーション 本講義の目的及び到達目標、講義形態、評価基準等について説明する。 また、今日の高齢者福祉を取り巻く課題を取り上げ、本講義を学ぶ意味・意義について考える。					
予習		講義の目的等について、シラバスを熟読する			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
2. 高齢者の社会的理解、身体的理解 高齢者の「生活の変化」「家族との関係性」「社会参加と生きがい」等をキーワードに、高齢者について社会的視点から理解する。また、高齢者の加齢に伴う「身体的機能の変化」「運動能力の変化」等をキーワードに高齢者の加齢による身体的変化について学ぶ。					
予習		キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
3. 高齢者の精神的理解、総合的理解 高齢者の「イメージ」「心理的特徴」「心の病気」等をキーワードに、高齢者について精神的変化の視点から理解する。また、前回講義の内容も踏まえ、高齢者の「生涯発達」「ライフサイクルとライフコース」「死生観」をキーワードに、人生における高齢期の意味するものについて考える。					
予習		キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
4. 少子高齢化と社会問題 我が国の高齢化は先進国に例を見ない速さで進行しており、これまでの推移と原因を探る。また、大きな関連がある少子化の動向について学び、現状を認識をする。					
予習		キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
5. 高齢者を取り巻く諸問題 高齢者を取り巻く諸問題とは何かを考える。例えば健康問題や介護の問題、更には経済的な問題等々多くの問題の派生が懸念されている。それらについて具体的な事例を含めて検証する。					
予習		キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
6. 高齢者保健福祉の起源と生成 我が国の高齢者の定義、高齢者に対する福祉サービスはいつ始まったのか、我が国の高齢者の定義はどのように変遷してきたのかを知る。高齢者（老人）に対する福祉サービスはどのようになされてきたのか、過去に遡りその起源から現代にいたるまでを検証する。					
予習		キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
7. 高齢者保健福祉制度の発展 第二次世界大戦後、我が国の福祉制度は児童や障害者、貧困者に対する対応を中心に充実してきた。そうした中で、新たな課題として老年人口の急増が表出し、その対応を図るため老人福祉法が制定された。その経緯と現在の状況について歴史的に学ぶ。					
予習		キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
8. 高齢者支援の関係法令 老人福祉法 歴史的な救済制度等について学んできた中で、社会の変化に伴い「老人福祉法」が制定されるが、その基本的な理念や法の構成とその役割について学ぶ。					
予習		キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習		講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間

○授業計画	科 目 名	高齢者福祉論（Study of Elderly Welfare）	授業コード	E041601
	担当教員	林 孝和		
学修内容				
9. 高齢者虐待防止法、その他の関係法令				
高齢者虐待や高齢者の住みやすい街づくり、更には高齢者の住まいの問題と様々な分野において高齢者の生活支援が求められている。そう言った分野についても知識を修得する。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
10. 介護保険制度の全体像				
介護保険制度の最も初歩的・基本的事項である「サービス利用の方法」「サービス内容」「全体の仕組み」さらには目的と理念について学ぶ。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
11. 介護保険財政と保険者・被保険者、介護保険の仕組みとプロセス				
制度の基本である財源の基本的な分野とともに、主体となる保険者・被保険者について、より詳細な把握を行う。要介護認定の流れ、介護保険サービス該当者になる条件などを学ぶ。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
12. 介護保険制度における保険給付				
介護保険制度のなかで受給できる様々な給付を学ぶ。また、サービスの質の確保等に関して求められる情報の公表や苦情への対応を学ぶ。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
13. 地域支援事業と地域包括支援センター				
介護保険制度における地域支援事業創設の経緯、内容を学ぶ。また、重要な役割を担う地域包括支援センターの概要を学ぶ。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
14. 高齢者と家族に対する支援				
高齢者領域におけるソーシャルワーク場面を示し、求められるスキル・役割を学ぶ。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
15. 試験前オリエンテーション				
講義内容のおさらい、試験の出題範囲、出題形式、評価基準を確認する。				
予習	キーワードについてそれぞれ調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストに回答する。また、回答内容と正答を確認する。			約2時間
16. 期末試験				
期末試験の詳細については、第15回の講義にて連絡する。				
予習	これまでの講義資料等を整理するとともに、講義内容について振り返る			
復習				